

# 3年生、センター試験を終える

3年生は18・19日にセンター試験を受けてきました。3年間頑張って身につけてきたもの全てを出し切り受験しました。3年間学んできた知識、問題を的確に読み取る読解力、素早く正解までどりつかせる計算力など1年のときから段階を追って積み上げてきた学力で勝負してきました。また、必要なのは学力だけではありません。部活動の練習や試合の中で培ってきた絶対に諦めない粘り強さも大切です。ある意味、入試は舞高3年間の集大成なのです。舞鶴魂の見せどころです。

## 2年生、共通テストまで1年を切る

3年生のセンター試験も終わりました。いよいよ次は君たちの番です。しっかり受験生になれていますか？もう一年ありません。文Iコースの者は9月から試験が始まりますので、あと8ヶ月しかありません。この3学期は**3年ゼロ学期**と捉えて、第一志望合格のための準備をしなければなりません。12月5日の北九州予備校の大山先生の話にもあったように、受験生に最も大切なことは本気で集中して取り組んでいるかどうかです。自分が今やらなければならないことは、みんなよく分かっています。後はそれを本気で実行できるかどうかです。3学期にセンター試験のレベル、2次試験のレベルを授業の中で先生たちが示してくれます。入試本番にあるべき自分の姿を見据え、逆算して今何をすべきかを考え、計画を立て学習に取り組む必要があります。また、5教科全科目に対して弱点教科をなくすことが重要です。2月1・2日の共通テスト模試の結果をきちんと受け止めて自分のやるべきことを実行してください。**学習時間を増やし、学習内容を深め、スピードを意識した学習をしてください。**そして、何が何でも第一志望に合格するという強い意志を持って日々の生活を送りましょう！



## 1年生も受験勉強を始めよう！

まず、この時期の1年生にやってほしいことは、「**自分の今のレベルを知る**」こと。**そのために大事にしたいのが模試です。**今月の進研模試、学研模試で、改めて今の自分の力が分かると思います。今の力が分かれば、やるべきことが見えてくるはずですが。模試は言うまでもなく、終わってからが重要です。徹底的に復習して、できなかったところは必ずもう一度理屈から考え直してください。共通テストではこれまで以上に「思考力・判断力・表現力」が問われます。覚える勉強では対応できません。「**なぜこうなるのか**」が重要な力となります。その次に、やってほしいことが、「**本気の志望校の決定**」です。1年生はここまで多くの時間を使って、学部学科研究を行ってきました。それは志望校を決定するためです。なぜ、志望校をこんなに早く決めなければならないのか、と思う人もいるでしょう。でも、考えてみてください。**志望校の入試科目は何なのか？その難易度はどれくらいのレベルなのか？どれくらいとれば合格できるのか？**それが、分からずにどうやって受験勉強をやるのでしょうか。つまり、受験勉強は志望校を決めた日にやっと始められるものなのです。そして、その勉強は一日でも早く始めた方がより効果的なのは言うまでもありません。そうすると自然に学習時間ではなく学習量を重視するようになります。3時間やったことに満足するのではなく、10問解くために3時間かかったという学習習慣になってくるはずですが。それが「自分でうまく学習する習慣が身についた」ということです。せっかくいい授業を受けても、自分で復習をしていないからまったく身につけていない、そんな状況から少しでも早く脱却しましょう。受験にフライングとオーバーワークはありません。**一日でも早く、受験勉強を始めましょう。**また、国立大学の推薦・AO入試の枠が拡大され、2年次の課題研究の成果も問われます。1年次から興味のある分野を探って準備をしていきましょう。

### 1・2月行事予定

日	曜	学校行事、1・2年進路行事	3年進路行事
25	土	1年学研模試 2年サタセミ	三者面談
26	日		三者面談
27	月		国公立大学出願開始
28	火	全校集会	
29	水		
30	木	職員会議	小論文・面接指導申込書提出
31	金		3年I期時間割終了 私立大学入試開始 (1月下旬もあり)
1	土	1年サタセミ・2年全統共通テスト模試	<b>この日までに国公立大学出願</b>
2	日	2年全統共通テスト模試 OSSコンソ成果発表会	
3	月	推薦入試会場設営	3年II期時間割開始
4	火	推薦入試 (自宅学習)	(自宅学習)
5	水	職員会議	国公立大学出願終了 小論文実践講座 (午後)
6	木		
7	金	人権講演会	<b>全ての学年においてこの時期が最も学習面で重要な時期だ！3年生は2次試験に向けひたすら演習に励んでください。1・2年生は学年末考査で評定(5段階)が決定します。もうこれ以上はできないくらいの学習をしてください。</b>
8	土		
9	日		
10	月		
11	火	建国記念の日	
12	水		
13	木		
14	金		
15	土	1・2年サタセミ	
16	日		
17	月	職員会議	
18	火	<b>学年末考査</b>	
19	水	<b>学年末考査</b>	
20	木	<b>学年末考査</b>	
21	金	<b>学年末考査</b> 1年理科スキルアップ研修	<b>前期日程受験者集会</b>
22	土	1年理数科スキルアップ研修	
23	日	天皇誕生日	
24	月	振替休日	受験地へ出発
25	火	1・2年学力検討会	<b>国公立大学前期試験</b>
26	水		<b>国公立大学前期試験</b>
27	木	SSH 成果発表会	3年III期時間割開始
28	金	卒業式予行・理数科集会	卒業式予行
29	土	1・2年サタセミ	
1	日		卒業式

# センター試験とは

正式名称は「**大学入学者選抜大学入試センター試験**」である。一般には、1990年1月13・14日以降の大学入試センターによる「大学入学者選抜大学入試センター試験」のみを指して「**大学入試センター試験**」「**センター試験**」と表現する  
場合が多い。**全教科・全科目で設問の解答をマークシートに記入する方式**とな  
っており、記述式の設問はない。2年生から始まる共通テストは正式には「大学入  
学共通テスト」といいます。いずれも、科目ごとに決まっている高等学校の学習指導要領に沿って出題され

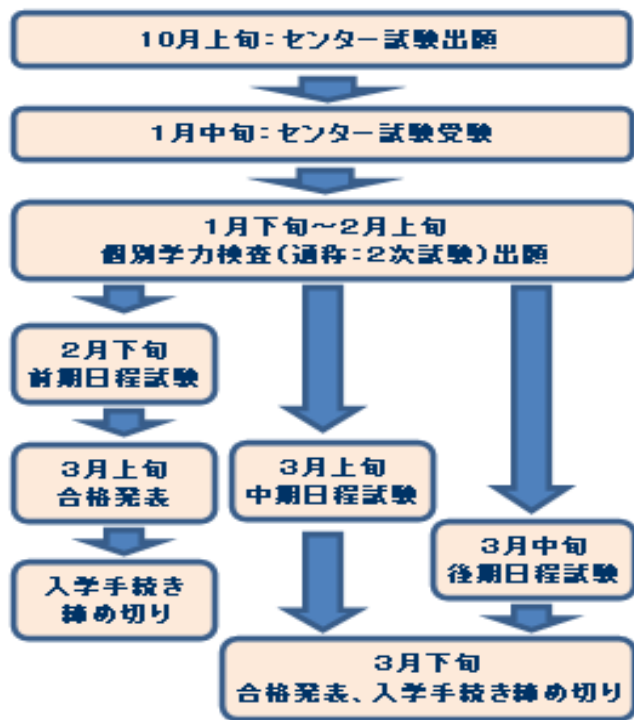
る。広汎な受験生を対象にしているため、教科書にある例題のような出題も多く、対策さえしていれば比較的容易に高得点を取れる試験である。

1990年から、共通一次学力試験から大学入試センターの実施する大学入試センター試験に変更し、**私立大学も試験成績を利用できる**ようにする  
など、試験自体を流動性のあるものに改めた。2006年には**英語科のリスニング試験が、世界で初めてICプレイヤーを利用したリスニング試験  
として実施**され、機械に関するトラブルも含めて話題となった。国公立大学においては、(一部の推薦選抜などを除き)出願資格を「センター試験  
で本学が指定した教科・科目を受験した者」と規定している。生徒の学力低下を懸念して、ほとんどの**国公立大学ではセンター試験で5(または6)  
教科7科目、合計950点分(英語は200+50を200点満点に換算するので実際は900点)の受験が必須**である。多くの文系では外国語、国  
語、数学2科目、地理歴史および公民の中から2科目、理科1科目が、理系では外国語、国語、数学2科目、地理歴史又は公民のうち1科目、理  
科2科目が主流となっている。また、私立大学の参加も年々増加している。私大の場合、センター試験を入学者選抜にどう利用するかは、各大学  
が個別に決めている。**平均点は各科目とも6割程度**になるように作成してあるが、年度や科目によっては、想定以上のずれが生じることがある。

**マークシートの記入は鉛筆を用いることが指示**されており、理由としてはシャープペンシルの金属部分がマークシートに当たると、筆記部分を  
消したとしても凹凸がことさらに生じ、機械が反応してしまうことと、シャープペンシルの芯と鉛筆の芯の材質が異なることが挙げられる。

**試験会場には、様々な大学・高校が設定**されている。試験会場は年によって異なる場合があり、その年の年度後半に発表される。試験が行われ  
る1月中旬は厳冬期に当たるため、雪によって公共交通機関のダイヤに混乱が生じた場合には、開始時刻を遅らせる等の措置を取ることが多い。  
なお、センター試験が実施される2日間は全国的に大雪になったり、ぐずついたりすることが多く、「センター試験の日は雪の特異日」とも言わ  
れている。センター試験も今年で最後の年となった。来年からは共通テストとなるが記述問題は当面は延期されたので、ほぼ同じ内容である。

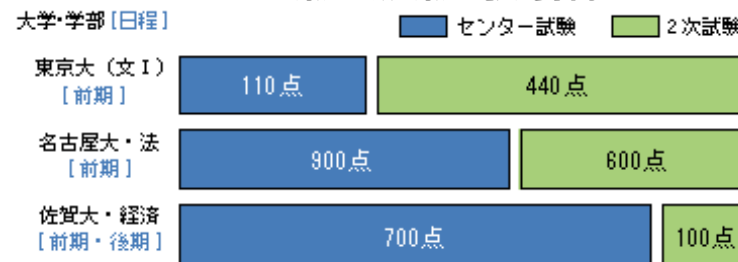
## 国公立大入試のスケジュール(共通テストもほぼ同じスケジュール)



国公立大入試の場合、一部の大学を除くと「前期日程」「後期日程」「中期日程」の  
組み合わせで最大3校の受験が可能。しかし、前期日程で合格し、入学手続きを取  
ると、他の中・後期日程を受験しても合格対象とならないため、第1志望は前期日程  
を受験することが一般的だ。

後期日程は、募集人員が少なく**志願倍率**が高くなりがちだが、実際は前期日程で  
合格を決めた人が後期日程の受験を取りやめるため、**実質倍率**は下がること  
が多い。また、前期日程から後期日程の間は2週間以上あり、弱点分野の克服なども可能だ。  
国公立大志望なら、「**最後まで国公立大をめざす気持ち**」を持ち続けることが合格へ  
の重要なポイントだ。

### センター試験と2次試験の配点比率例



**国公立大入試は、センター試験と2次試験を受験し、2つの試験の合計点で合否  
が決定**する 경우가多い。センター試験と2次試験のどちらを重視するのかは、大学・  
学部・学科や入試方式によって異なるので事前に把握しておくことが大切だ。68  
回生の試験には「主体性」も評価されるようになる。

## 3年生、センター試験終了、 次は2次試験に向けてがんばろう!

1月18日(土)19日(日)の2日間に向けて、これまで数多くの準備をしてきました。それらの全てを發揮して、67回生は堂々と受験をしました。67回生はかなり苦戦をしてきましたが、最後は我々教員にとつても誇りある生徒へと成長してきました。みんな、お疲れさまでした。

センター試験の結果を受け、これから国公立大学の個別学力試験(2次試験)に向かいます。合格を勝ち取れるようにこれまで以上の努力を積み重ねてください。これからの学習は3年間で最も中身が濃く、深みのあるものです。これからの学習が本当に楽しい学習なのです。とことんやってみてください。学習の楽しさを思う存分味わってください。

いよいよ、高校生活も大詰めです。舞高生としての完成形をめざし、各自さらに充実した時間を積み重ねましょう。そのために、今後注意すべきこと、心がけるべきことをいくつか挙げます。しっかり読んで、これからの生活を充実させてください。

### ① 24日に行なう出願審査会の結果を真摯に受け止める。

この審査会は、進路未決定の3年生の生徒一人一人について、センター試験の結果はもとより、あらゆる材料を総合して、その生徒に最も適した受験校を検討していくものです。単なる数字からの判断ではなく、これまでの活動全てを考慮した最も信頼できる判定です。その結果を真摯に受け止め、受験校を決定してください。センター試験の結果のみにとらわれることなく、各自の可能性をより広げることのできる進路選択を行うことが大切です。センター試験に対する『速断』は禁物です。最終志望校検討会の結果を真摯に受け止め、各自の進路実現に向けて大いに努力を積み重ねてください。

### ② 授業及び講座を大切にする。

午前中クラスごとの授業、午後は各自の入試に合わせた講座を実施します。各教科とも2次試験の内容は、解き応えのある難しい問題です。これらに対する学習は『独自』の方法では、なかなか効果が上がりません。1時間でも長く、1問でも多く、先生方の目の前で問題に取り組むことが大事です。生徒と先生方との真剣勝負です。学問の醍醐味です。この面白さを逃してはなりません。授業及び講座を徹底的に活用しましょう。

### ③ 最後まで粘り強く受験する。

私大等の出願はほぼ終了しています。これから国公立前期・中期・後期の出願をします。受験については、途中で投げ出したり、妥協することなく、最後まで徹底的に準備して受験しましょう。『受験』を通して、『常に向上をめざし、自己の可能性を広げ続ける姿勢』を身につけることが大切です。自分の3年間の成果を最大限に發揮して、全員が互いを支え合い、最後まで粘り強く受験しましょう。

